

第5回

ワークショップ ふりかえり

のせのセッション

旧久佐々小学校体育館が、
図書館として生まれ変わります！

「あんな時間を
能勢に過したくない！」

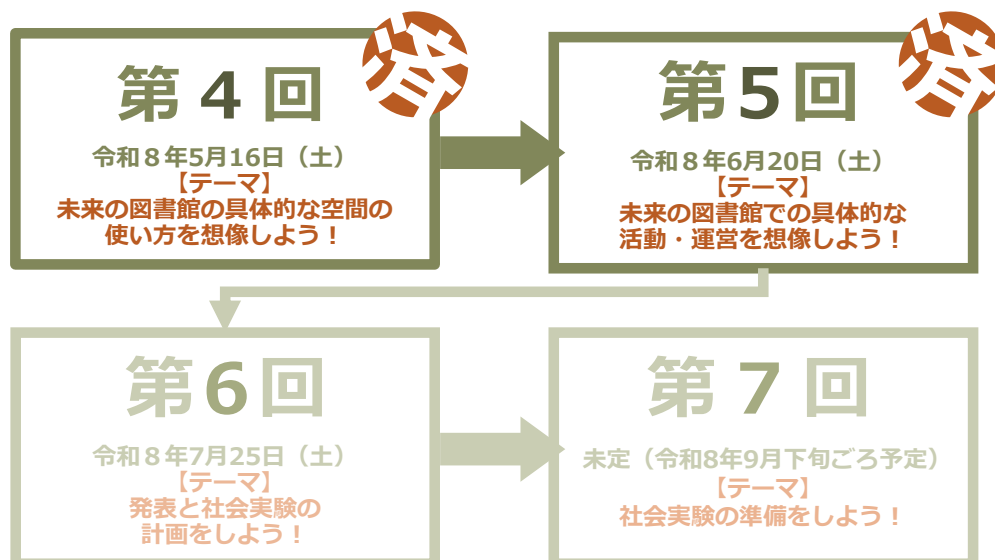
「能勢にこんな図書館が
あればいいのに！」

「のせのセッション」って何？

能勢町では、旧久佐々小学校体育館「敬愛舎」を生涯学習センター（図書館）として改修するにあたり、単に「本を借りる・本を読む」だけの場所ではなく、子どもから大人まで気軽に立ち寄り、様々な学び・出会い・交流が生まれる“新しい図書館” にすることをめざしています。そのために、これからも能勢町で学び、暮らすみなさんと一緒に、能勢町の未来を対話（セッション）しながら、いろいろな想いを“のせ”で、つくっていきたいと考えて立ち上げたのが、この取組です。

令和8年度は計4回のワークショップを予定しています。前年度にまとめた基本構想を出発点として、新図書館の魅力をどう生かすか、具体的なレイアウトや改修計画のアイデアを出し合います。子どもから高齢者まで、能勢に暮らす誰もが日常的に足を運びたいくなる拠点を目指し、アイデアを具体化していきます。

令和8年度ワークショップスケジュール 「能勢にこんな図書館をつくりたい」



第5回ワークショップを開催しました

令和8年6月20日（土）に敬愛舎にて第5回のワークショップを行いました。当日は、15名の方に参加いただきました。

第3回ワークショップで皆さんが考えた「素敵な情景」の中から、今回再現したい情景を選び、人や植物、椅子・机・本棚などの家具、移動図書館などのパーツを配置して、その情景を表現しました。

その後、グループ内でそれぞれが再現した情景を共有し、情景同士のつながりや相性を考えながら、1つのレイアウトとしてまとめました。さらに、完成した敬愛舎を見ながら、実現したい空間のあり方や、より魅力的にするためのアイデアについて意見を出し合いました。

最後に、各グループで出来上がった敬愛舎を全体で共有し、それぞれの考えや工夫を発表しました。

ワークショップの内容

① アイスブレイク

⇒ 「のせのセッションワーク本」への書き込みを行う

② ワーク①「図書館の中の素敵な情景をつくろう」

⇒ 素敵な情景を選び、人・植物・家具・移動図書館などのパーツを組み合わせて表現する

③ ワーク②「みんなの図書館でやってみたいことを考えよう」

⇒ 各自で作った情景を発表し、それぞれの相性を考えながらレイアウトする

④ 全体共有

⇒ 各グループで出来上がった敬愛舎を共有・発表する

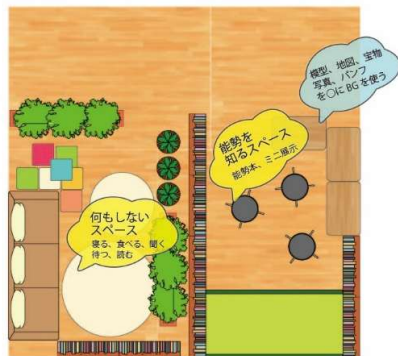
ワークショップの様子



「ふくわらいゲームワークショップ」

これまでのWSで描き出された「素敵な情景」を、人・植物・家具・移動図書館など、空間を構成するさまざまなパーツを用いて表現しました。お互いが思い描く情景の具体的な空間イメージを共有し、それぞれの情景のつながりや相性を考えながらレイアウトすることで、1つの「敬愛舎」を作り上げました。

A



能勢町の情報に誰でも気軽にアクセスできる観光案内の機能が積極的に議論された。



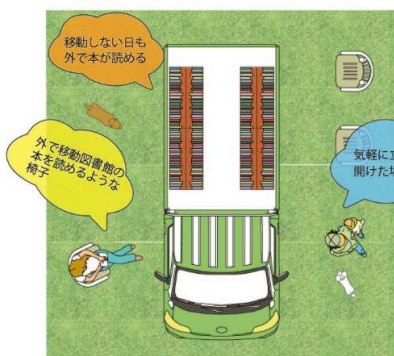
浄るりシアターの改修と一体的に考えていく必要があるという意見が挙げられた。

浄るりの調理教室の改修

入口付近
フリースペース
借室（安く）
キッチンスペース



ただ本を読むだけでなく、読んだ本を互いに紹介したり何もせずにくつろぐことができるような自由な滞在空間が必要であることが共有された。



B

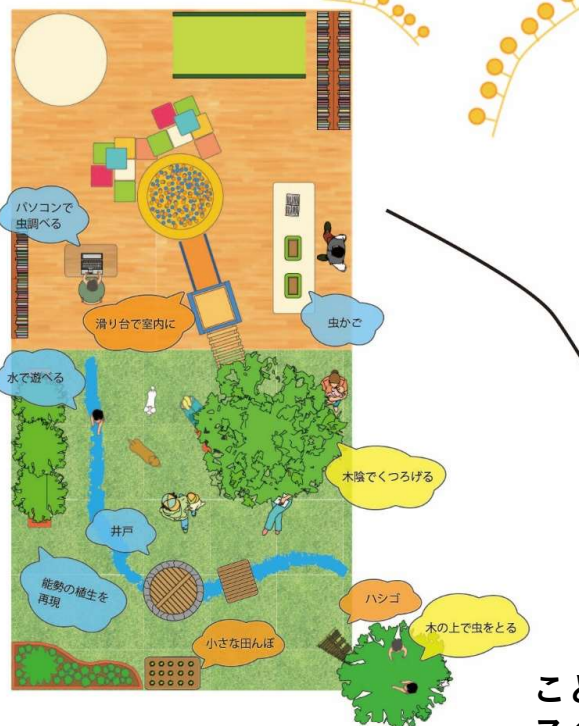
夜間開館による居場所づくりや学びの共有の場など、多世代が利用できる機能への期待が示された。



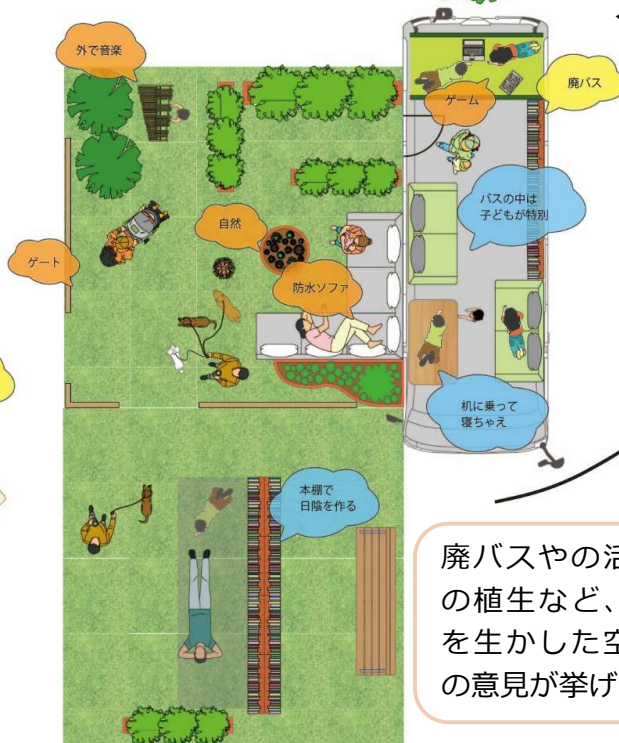
多様な種類の椅子やグリーンの貸出機能、空間同士をつなぐ畳敷きの茶室コーナーなど、誰もが心地よく過ごすせる空間づくりに関するアイデアが共有された。



ピンポイントなコンセプトのイベント
・イタリアンマーケット
・ワールドカップマーケット



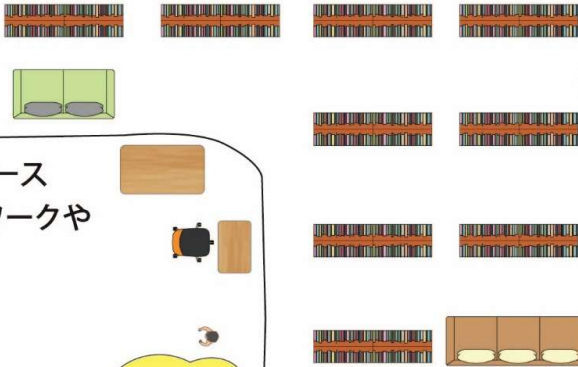
こどもスペース



廃バスやの活用や能勢の植生など、地域資源を生かした空間づくりの意見が挙げられた。

C

静かなスペース (リモートワークや 勉強)



車いす利用者やベビーカー利用者に配慮した空間づくりや、静かなスペースの整備など、利用環境への配慮を求める意見がみられた。

マガジンラック

本をここに持つていく



広い入り口



ウッドデッキ



屋外空間の活用アイデアとして、屋外ステージを活用したダンスイベントの開催や、ウッドデッキの設置による出入りのしやすさの向上、観光客に向けた能勢の歴史などの地域情報を発信する展示スペースの整備といった意見が共有された。

